

スイス製 クランプ式レール・ボンド

KAGO クランプ



信頼の4つの



SPEEDY

迅速に設置でき失敗しない

- ・作業前にレール表面の泥、鉄錆、グリース、塗料等を拭き取ったり研磨の必要がない。
- ・クランプ取り付けの際、周囲の砂利を取り除いたり、レールの下部を掃除しなくても良い。
- ・金槌を使うだけで迅速、簡単に取り付けと取り外しができる。

SIMPLE

誰でも簡単に作業できる

- ・クランプの取り付けは訓練を受けてない者でも簡単に作業できる。
- ・溶接機材、ドリル、電源等の道具を必要とせず、金槌だけでレールに叩きこめる。
- ・クランプ（3kg）や金槌（1kg以下）は軽量。いつでも、どこへでも楽に携帯できる。

SAFETY

工事と運行の安全が図れる

- ・電気抵抗が非常に低く、電気車電流と信号電流を確実に流し、列車の安全運行が図れる。
- ・簡単、迅速に取り付けと取り外しができるので作業時間が短縮できる。
- ・マルチタイタンバーを使用した保線工事の障害とならない。

SAVING

大幅なコストダウンを達成

- ・迅速に設置でき、失敗がないので作業員の負担を軽減し、工事費を大幅に節減する。
- ・クランプのマウスがゲージの許容限界に達する迄再使用できるのでコストを削減する。

KAGO クランプ

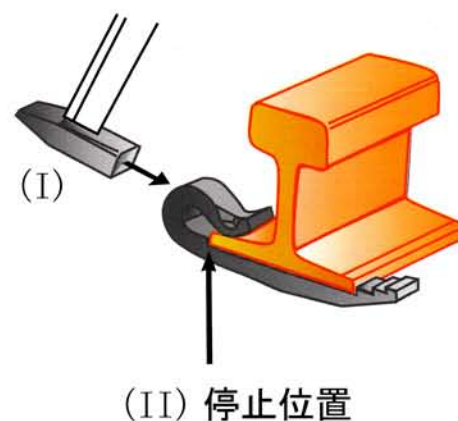
レールボンド（応急用）

50N 用クランプのリード線被覆：黒色● / 60K 用クランプのリード線被覆：透明○

* KAGO クランプの使用レールは 50N 用と 60K 用の 2 種類ありますが共用は出来ません。

取付け方法

レールボンド（応急用）のクランプの頭部（左側）が停止位置（II）に達するまで 1kg 以下の金槌（I）を数回水平に振りおろしレール底部に強く叩き込んで下さい。レール継目のレールボンドが脱落した場合、原則としてレールボンド（応急用）1 セットをレールの内側と外側に向けダブルで打ち込み、レールの継目一箇所（2 本のレールの継目）毎に 2 セットを使用します。



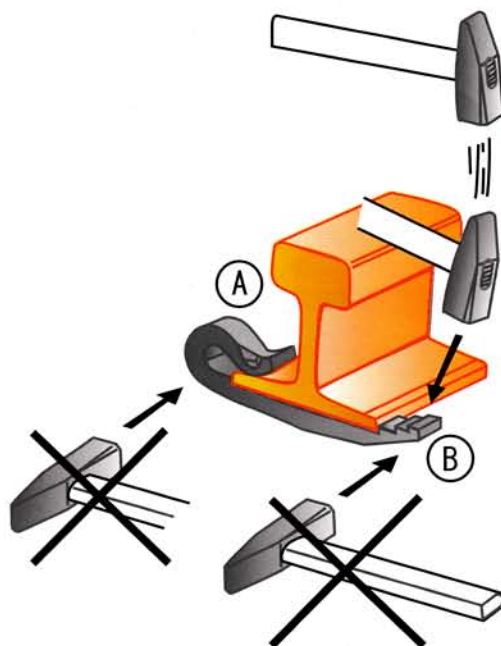
撤去の方法

レールボンド（応急用）のクランプを撤去する場合、クランプ (A) (左側) を靴底で押さえ (B) を金槌で下向きに強くたたくと反対側に外れます。

注意： クランプを横側からたたかないで下さい。

金槌でクランプ (B) を水平の方向にたたいても段差に阻まれて外れません。

警告： 外れたクランプやバストラが飛散し、他人を傷つけないよう反対側の人の気配に充分気をつけて作業して下さい。



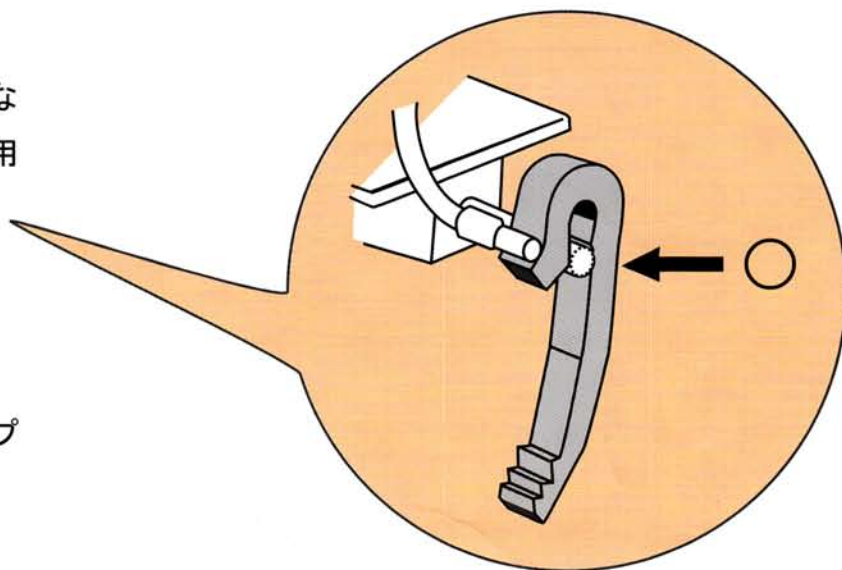
テストの方法

開口部を専用ゲージ（オプション）で調べ、ゲージを通らなければ再使用できますが、ゲージを通るようになれば再使用できません。

（ゲージの直径＝開口部の最大許容値：60K-16.5mm、50N-13mm）

1. 再使用可能

開口部がゲージを通らなければクランプは再使用できます。



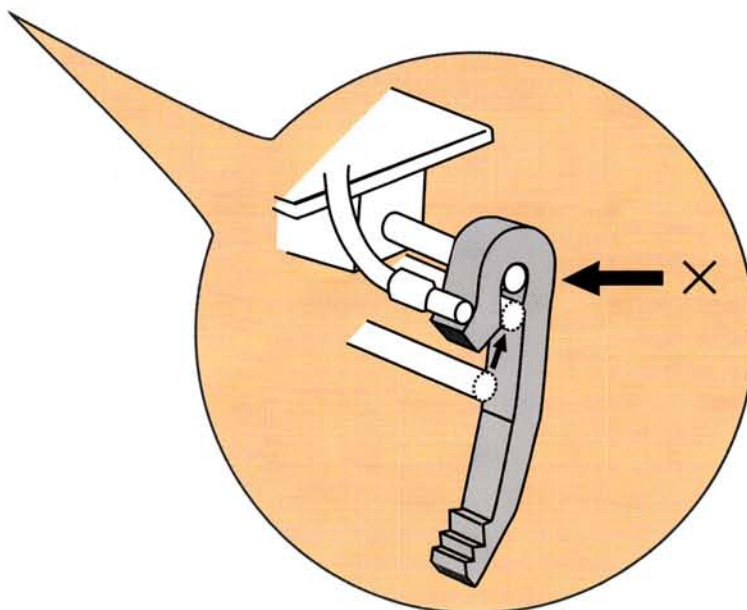
2. 再使用不可

ゲージが通ればクランプは再使用できません。

!! 警告 !!

再使用できなくなったクランプを叩き、開口部の隙間を狭めて再使用すると接触不良となります。この方法で絶対に再使用しないでください。

* 不適切な再使用をされた場合、当社としては責任を負いません。



A.Kaufmann AG
KAGO クランプ
日本総代理店

株式会社 国友商会

〒187-0025 東京都小平市津田町1-21-4
TEL・FAX：042-344-1379